

特集

豊能町「はたちのつどい」

新成人の晴れの門出を祝し、1月10日、ユーベルホールにおいて令和4年「はたちのつどい」を開催しました。

今年も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスク着用の徹底、入場時の手指消毒、検温、座席位置への配慮など万全の態勢で実施しました。

入場者も新成人のみに限定し、式典の模様はインターネット上でライブ配信しました。

そのような中で、ステッソや袴、色鮮やかな振袖に身を包んだ新成人108人が集まり、大人への新たな一步を踏み出しました。

また、会場では久しぶりに会う旧友とともに写真を撮ったり、思い出話に花を咲かせたりする場面が見られました。



小幡
おばた
諒さん
りょう



本日は、私たちのためにこのような素晴らしい式典を開いてください、誠にありがとうございます。

塩川町長をはじめ、「ご来賓の皆さまより心にしみるご祝辞、励ましのお言葉をいただき、心から御礼申し上げます。この町でともに過ごした仲間達とともに成ら先、進む道はそれぞれ違いますが、豊能町出身者としての誇りを胸にしっかりと生きていきたいと思っています。そして、素晴らしいときと共に過ごした仲間との絆を、これからも大切にして参ります。

私は、小学一年生の頃から小学6年生まで地元の野球チームに所属していました。この6年間で色々な人と出会い、野球の技術だけでは無く礼儀作法などたくさんのこと学びました。夏の暑さや冬の寒さの中で仲間と切磋琢磨しながら練習をしたことや、公式戦で初めてヒットを打てたことは今でも忘れられない思い出です。

中学校、高校ではバスケットボール部に所属し、コミュニケーションの大切さや高度な技術などを学ぶことが出来ました。ここで培った忍耐力や友達の存在は今の原動力となっています。

私の10代を振り返ると、色々なことに挑戦する日々だったと思います。興味関心のあることに挑戦し、それに突き進んでいくと必ず自分自身の力になるという事を学びました。

私たちは、今後社会の一員として責任ある行動をとらなくてはなりません。20歳という大きな節目を迎える、これから先どのように人生を歩み、社会に貢献していくべきかを、真剣に考えていただきたいと思いま

「新成人のことば」

永田
ながた
実夢瑠さん
みゆる



す。私たちは自分の進む道に希望や夢を持つてこれからも進んでいきたいと思います。

最後になりましたが、今日まで育ててくれた両親や家族、本日の式典のために尽力いただいた関係者の方々に、この場をお借りし、厚く御礼申し上げまして、新成人代表の挨拶とさせていただきます。

本日は、成人を迎えた私たちの門出に際して、このような素晴らしい式典を開催してくださった全ての方々に、新成人を代表して厚く御礼申し上げます。

この20年間を振り返ってみると、両親や親族、大切な友人、先生方をはじめとした、沢山の方々のお陰で今の私があると強く感じています。

私は、当たり前以上の日常が当たり前にあるような環境での20年間育つきました。高校生、大学生と少しずつステップアップしていくうちに、いかに自分が幸せで沢山の素敵なお話を聞いているかということを感じています。

そして、の中でも私を最も支えて続けてくれたものは、周りの方々からもらった言葉だと思います。言葉には人を救い、支えてくれる力があります。人から発せられる言葉や、文章として伝えられる言葉はさまざまなかつて方法で貴い、与えることができると思います。

その中でも特に、本は言葉で溢れています。本が好きという方は多いと思いますが、それは同時に言葉きたという方は多いと思いますが、それは同時に言葉が好きということにもなると思います。本は、沢山の素敵なお話を私に与えてくれました。また、私の心の支えとして沢山救ってくれたものでした。私は、いつしか、私自身が周りの方々や本から貰ったように、沢山の人々の支えや希望になるような言葉を伝えるこ

令和4年 成人式～はたちのつどい



とがで甲子の職業に就きたいと思つようになりました。
今は、それを実現すべく、大学ではマスメディアやソーシャルメディアの勉強をしています。私たちも日々、テレビや新聞などのマスメディアから沢山の言葉を受け取っていると思います。また、「一年生や二年生のロードをはじめとしたソーシャルメディアを使って相手に言葉を伝えることができる時代になりました。

このような、膨大な言葉が飛び交う現代だからこそ、自分にしか伝えられないような言葉で、より多くの人々の力になりたいという思いが、大学で勉強していくうちにより強くなりました。
そして、こののような思いを持つことができていることや未来に希望を抱くことができていることは紛れもなく、私をここまで育ててくれた両親や祖父母、楽しい時も苦しい時も隣にいてくれた親友たちなど、今まで出会ってきた沢山の方々のお陰です。そのような私の周りの全ての環境に感謝すると共に、恩返しをできるような人間になれるよう、自分の良いと思う正解を信じて、向上心と謙虚さを忘れず日々、成長していくたいと思います。

簡単ではございませんが、新成人の代表のお礼の言葉とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

葉を受け取っていると思います。また、「一年生や二年生のロードをはじめとしたソーシャルメディアを使って相手に言葉を伝えることができる時代になりました。

このような、膨大な言葉が飛び交う現代だからこそ、自分にしか伝えられないような言葉で、より多くの人々の力になりたいという思いが、大学で勉強していくうちにより強くなりました。

自分にしか伝えられないような言葉で、より多くの人々の力になりたいという思いが、大学で勉強していくうちにより強くなりました。

「謝 辞」

ひがじゅい
東浦
まとう



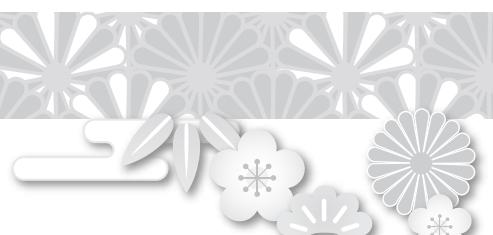
本日は、口ロナ禍という状況で開催が難しい中、私たちのために、このように盛大な成人式を催していただきました。誠にありがとうございます。成人を代表し、心より厚くお礼申し上げます。

私たちは、この自然豊かな豊能町で育ち、幼い頃から共に遊び、学び合った仲間と、成人式という人生の節目、そして大人としての門出を迎えることができ心から嬉しく思います。こうして無事に成人を迎えることができたのも、たくさんの愛情を注いで育ててくれた家族やお世話になった先生方、また支えてくださった地域の皆さんのお陰であることに深く感謝し、「挨拶を申し上げます。

さて、私たちは20歳を迎えて、仲間の中には自分の将来をしつかりと見つめ、大学・専門学校で勉学に励んでいる人、就職して仕事に尽力している人などそれぞれ異なった道を歩んでいます。中学校を卒業して5年という短い時間ですが、一人一人の過ごしててきた時間を肌で感じることができ、とても胸が熱くなっています。

私は、大学でアパレル関係を中心にして学んでいます。ここでは人とのつながりの大切さやアパレルの知識などを多くのことを学び、人を笑顔にすることや、社会に貢献することの大切さを感じながら、日々勉学に励んでいます。私は、将来のことを広め、少しでも笑顔になる人や、勇気を持つことができる人を増やしていきたいと思っています。私は、将来的にこのことを専念することができたのも背中を押してくれた恩師、見守ってくれている両親、どんな時でも寄り添い支えてくれる親友のおかげだと感じ心から感謝しています。

この先多くの選択に迫られることがあると思います。しかし、いつどんな時に多くの人に支えられていること、選択に失敗などないことを胸に刻み歩んでいきたいと思います。



会場ではマスク着用を義務付けています。掲載の写真は、撮影のためにマスクを外していただいています。